

4. 環境ビジョンと基本目標

4.1. 環境ビジョン

本町の掲げる「快適で 笑顔あふれるやすらぎのまち おおの」という将来像を実現するための、4つの基本的な考え方を示し、それらを踏まえて設定した環境ビジョンを掲げます。

【考え方① 脱炭素を目指すまちづくり】

町民・事業者・行政の連携・協働により、環境とまちのにぎわいが調和し環境負荷の少ない、真に豊かで持続可能な活力ある脱炭素なまちづくりが進み、次世代に引き継がれている。

【考え方② 省エネで資源循環型のライフスタイル】

少ない資源・エネルギー消費でも快適に暮らせる情報・技術・知恵(トップランナー機器の導入や行動変容による省エネルギーへの一層の取組、化石燃料からのエネルギー転換、再生可能エネルギーや次世代エネルギーや最新のテクノロジー導入等)が共有される等、資源循環型のライフスタイルが、日常生活や事業活動に根づいている。

【考え方③ 地球的視野に立ち身近な地域で行動】

人類共通の重大な課題である地球温暖化の防止や、全世界が目指す持続的な開発目標(SDGs)を達成するため、一人ひとりが地球的視野に立って考え、環境を大切にすることを常に持ち、身近な地域で環境に配慮した行動をしている。

【考え方④ みどりを育て、やすらぎのある生活】

水と緑に囲まれた自然豊かで住み良い環境を維持し、誰もが快適で安心して住み続けられる田園都市環境が確保されている。

【環境ビジョン】

環境に配慮し自然と共生した持続可能な脱炭素まちづくり

4.2. 基本目標

4.1に示す環境ビジョンの実現に資する、4つの基本目標を以下のとおり設定します。

基本目標1：脱炭素社会の構築

本町が宣言しているゼロカーボンシティの実現に向け、町民・事業者・行政の全ての主体が、再生可能エネルギー、省エネルギー設備の積極導入や省エネを意識した行動変容やごみの減量化等に取り組み、環境負荷を低減し温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする脱炭素社会の構築を目指します。

基本目標2：循環型社会の形成

官民連携により、3R(リデュース、リユース、リサイクル)を徹底し、廃棄物の発生を抑制することで、廃棄物を資源として有効活用するとともに、ライフサイクル全体での徹底的な資源循環を通して、持続可能な形で資源を利用できる社会の構築を目指します。

基本目標3：生活環境の向上

騒音、振動、水質汚濁、大気汚染といった環境問題がなく、町民が安全・安心に生活できるとともに、地球市街地緑化や公園等の整備や、歴史的・文化的資源の保全等を通じた美しい自然景観の形成によって、生活環境の向上を目指します。

基本目標4：自然と共生する社会の実現

森林や里山の保全・再生、生物多様性の保全等により、本町が有する豊かな自然環境を維持し、町民と自然が共生する社会の実現を目指します。